

事例番号:300081

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第七部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

1 回経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 4 日

23:30 破水、陣痛開始のため当該分娩機関に入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 40 週 5 日

6:50 微弱陣痛のためオキシトシン注射液による陣痛促進開始

10:37 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:40 週 5 日

(2) 出生時体重:3400g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.270、PCO<sub>2</sub> 48.4mmHg、PO<sub>2</sub> 30.8mmHg、  
HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 21.5mmol/L、BE -5.3mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 1 日 全身状態良好、筋緊張良好、呼吸正常

生後 2 日 呼吸循環障害あり(経皮的動脈血酸素飽和度 50-60%台、心拍数、  
40-50 回/分、あえぎ様呼吸あり)、新生児蘇生後 NICU 管理

頭部超音波断層法および頭部 CT の結果、小脳出血、頭蓋内出血、  
両側水頭症と診断

(7) 頭部画像所見：

生後 2 日 頭部 CT で小脳の広範な出血・脳室拡大・脳室内出血を認める

生後 11 日 頭部 CT で脳幹右側に動脈瘤を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 1 名、研修医 1 名

看護スタッフ：助産師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、新生児期の小脳出血および、それに伴う両側水頭症により脳幹圧迫をきたしたことによる呼吸循環障害である。

(2) 小脳出血の原因は、脳動脈瘤からの出血の可能性がある。

(3) 小脳出血が発症した時期を特定することは困難だが、出生後より生後 2 日の NICU 入室前までの間に生じたと推測される。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 40 週 4 日に破水、陣痛開始のため入院管理としたことは一般的である。

(2) 微弱陣痛の診断にて子宮収縮薬による陣痛促進を行ったことは一般的である。

(3) 陣痛促進の方法(説明と同意、オキシトシン注射液の投与方法、分娩監視装置による連続モニタリング)は一般的である。

(4) 子宮口 9cm 開大後に分娩停滞と判断し人工破膜を行ったことは選択肢のひとつである。

(5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

(1) 出生直後の対応は一般的である。

(2) 生後2日、全身状態に異常を認め酸素投与、医師へ応援連絡、バッグ・マスクによる人工呼吸を行い、当該分娩機関 NICU へ搬送したことは適確である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) スクリーニングは妊娠 35 週から 37 週に実施することが望まれる。

【解説】 本事例では、「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2014」の推奨時期の通り、GBS スクリーニングが実施されていた。「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」で推奨時期が変更されているので今後は妊娠 35 週から 37 週での実施が望まれる。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

- ア. 新生児期に脳出血をきたし、脳性麻痺を発症したと推測される事例を蓄積して、疫学のおよび病態学的視点から、調査研究を行うことが望まれる。
- イ. 国・地方自治体に対して、妊娠中の B 群溶血性連鎖球菌スクリーニングを、「産婦人科診療ガイドライン」で推奨する時期に公的補助下に一律に実施できる制度を構築するよう働きかけることが望まれる。

【解説】 「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」では、膣分泌物培養検査 (GBS スクリーニング) を妊娠 35 週から 37 週に実施することを推奨しているが、検査費用の公的補助制度によって同時期の実施が難しい地域がある。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。